

No. 49

2002年9月1日発行

宇治市中央図書館

〒611-0023 宇治市折居台1-1

0774 (39) 9256

宇治市東宇治図書館

〒611-0011 宇治市五ヶ庄三番割36-5

0774 (39) 9182

宇治市西宇治図書館

〒611-0042 宇治市小倉町山際63-1

西小倉地域福祉センター3階

0774 (39) 9226

と し よ か ん 宇 治



ブックスタート風景

「ブックスタート」とたんぼぼスタート

お話しサークルたんぼぼ会員 藤田 柳子

私達がそれぞれの思いを胸にもって図書館で研修をうけ、小グループにわかれて、大型紙芝居やペープサート等手造りの作品を持ちより4月に、「たんぼぼ」としてお話しサークルを立ちあげました。

さて、宇治市では一九九八年から「ブックスタート」について下準備をいろいろされてこの4月からスタートされました。パンフレットから少し抜粋させていただきます。

「ブックスタート」ってどんな運動？ 赤ちゃんの体の成長にミルクが必要なように、赤ちゃんのことばと心を育むためには、抱っこや暖かさの中で優しく語りかけてもらう時間が大切だといわれています。肌のぬくもりを感じながらことばと心を通わす、そのかけがえのないひとときを「絵本」を介して持つことを応援する運動です。地域の保健センターでの3ヵ月児健診に参加したすべての赤ちゃんとお母さんを対象に赤ちゃんにおすすめの絵本などが入ったブックスタートパックを、メッセー

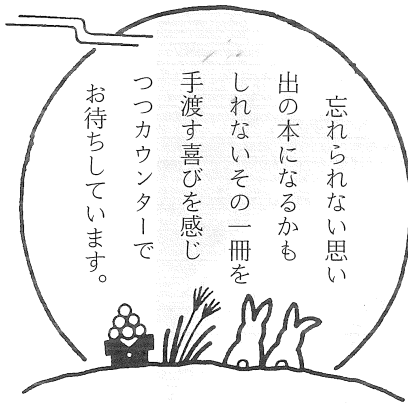
ジや説明を添えながら手渡します。
これが「たんぼぼ」としまして公的機関ではじめてのお手伝いです。会場では沢山のお母さんと赤ちゃんが皆一様に緊張気味です。私達も緊張の渦に巻きこまれない様に落ち着いてお母さん方に丁寧に説明をしてから赤ちゃんに絵本を見せて読んであげたり、お母さんに一緒に読んでもらったりしますと8割位の赤ちゃんが、つぶらな瞳でしっかり見てくれます。お母さんも予期せぬこととて感じて驚かれる方が多いです。保護者の活字離れや育児不安が、絵本を赤ちゃんに読んであげる事により、少しでも自分の子の思いもかけなかった心の動きを知り、親子で深いきずなもできるし、赤ちゃんも小さい時から自然に絵本を通して想像力や集中力がついてくる。こんないい事づくめのブックスタートに私達が参加させていただいて、何か心がフワッと浮き上がる気持ちです。赤ちゃんから何か新鮮な「気」をもらいました。

2001 ベストリーダー

<児童書部門>			<成人書部門>		
順位	書名	著者名	順位	書名	著者名
1	ハリーポッターと賢者の石	J・K・ローリング	1	だから、あなたも生きぬいて	大平 光代
2	でこちゃん	つちだのぶこ	2	五体不満足	乙武 洋匡
3	わかったさんのプリン	寺村 輝夫	3	沈まぬ太陽1~5	山崎 豊子
4	わかったさんのクレープ	寺村 輝夫	4	永遠の仔 上、下	天童 荒太
5	ぐりとぐら	中川李枝子	5	柔らかな頬	桐野 夏生



ベストリーダーとは、ある期間一番読まれた図書のリストのことを言います。図書館に同じ本が何冊あるか(二冊めからを複本といいます)によっても差は出ますが多くの方に読まれたという意味ではひとつの指標になります。

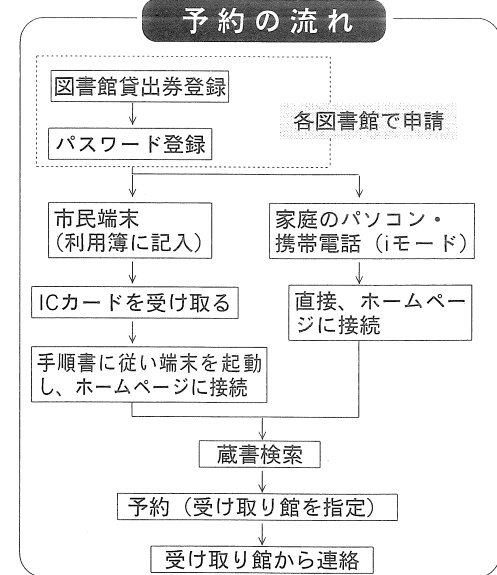


何十人も待っていたら、ある時期にベストリーダーにおどりた本でも、ブームが去ると見向きもされなくなるものもあれば、本が返って来て所定の場所へ並べられる前に貸出され、めったに書架に並ぶことのない本もあります。児童書のかいけつゾロリシリーズがその一例です。しかし、たくさんの人に読まれようと思われまいと自分にとってはお出の本で忘れられない一冊もあるでしょう。

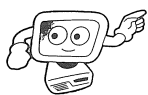
以前、小さい頃読んだお話で絵も文も同じものを子どもに読ませたいという絵本のリクエストにお応えしたことがあります。

人との出会いがあるように思いもかけない本との出会いもあります。

インターネットを利用して蔵書検索や予約申し込みのできるシステムが、六月一日から稼働しています。予約には、貸出券番号のほかにパスワードが必要ですが、スタートから一カ月で、六〇三人の方が来館して申請されました。毎日数十件、多い時では六〇件以上の予約があります。また、リンク先の京都府立図書館からは、ネットワー



インターネットを利用して蔵書検索や予約申し込みのできるシステムが、六月一日から稼働しています。予約には、貸出券番号のほかにパスワードが必要ですが、スタートから一カ月で、六〇三人の方が来館して申請されました。毎日数十件、多い時では六〇件以上の予約があります。また、リンク先の京都府立図書館からは、ネットワー



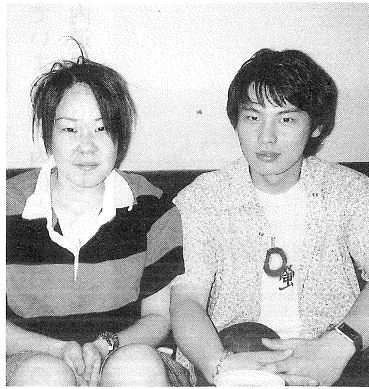
<http://library.city.uji.kyoto.jp/>
(iモード <http://library.city.uji.kyoto.jp/i/>)
ホームページを開設して3ヶ月!

図書館へようこそ

インタビュー 読者に

第 35 回

千葉 明子 さん
純 也 さん



今回は、神明にお住まいの、千葉さんご夫妻にお話をうかがいました。

★図書館のご利用は今日が初めてですね。今日は、何となく、図書館でも行ってみようか、ということであられたんですか。



そうですね。土曜日なので……。午前中だけなのかと思ったら、一日中開館してるとですね。

★そうなんです。月曜と第四木曜。

祝日は休みですが、それ以外は平日も土日も、九時から五時まで開いているんです。



車が多いですね。

★今日はお天気が悪いですしね。文化センターや公民館で何か催しがあるときは多いですね。

ところで奥様は妊婦さんですね。何か月ですか？



もうすぐ8か月です。(インタビューは6月でした)

★そうですね。さっき、赤ちゃんの名前の本をお探しましたね。



はい。

★もうすぐお子さん誕生ということ、「ブックスタート」って、ご存じですか？



いえ、知りません。

★赤ちゃんとお父さん、お母さんのふれあいの手段として使ってもらおうと、絵本をプレゼントする運動なんです。宇治市でもこの四月から始まったんですよ。三か月児健診で手渡ししてるとですね。赤ちゃんに読みかかせなどは考えていますか？



もうおなかの中にいるときから、声はわかると本で読んだので……。生まれたら小さい間は読

みかかせをしようと思ってます。もっと大きくなったら、シールを貼ったりして遊べる絵本で遊びたいですね。

★図書館にはじゅうたんコーナーがあって、靴をぬいでゆつくり本を読んでもらえますので、お子さんと一緒に来て下さいね。

何か図書館にご要望はありますか？



子どもが生まれる前についての知識が欲しいのですが、そういう雑誌はないですよ。

★ないですねえ。出産や育児のコーナーはご覧になりましたか？



いえ。写真が載っている方がいいので、雑誌のほうがいいんです。わりと不安なものですから、情報が欲しくて。

★そうですね。あにく雑誌のリクエストはお受けできませんが、今後の参考とさせていただきます。



本が探しにくいですね。コンピュータで棚にあるところとがわかって、大きな棚のどのあたりにあるかがわからないので、端から順に見ていかないとダメ

んし。「赤ちゃんの名前」など、本のあるところに案内の板があるというですね。



あと、アンパンマンなどのアニメビデオやCDもないですね。

★今のところ置く予定がないんです。図書館にあるカセットテープは文学や講演、落語などですしね。



それから、駐車スペースも狭いですね。

★何かイベントがあるよね……。ここは車で来られる方が多いんですよ。



雑誌を読むスペースも狭いですね。

★うーん、そうですね。いつもふさがっている感じですね。

今日は貴重なご意見をありがとうございました。今度はお子さんとしていらして下さい。お待ちしています。

突然のインタビューのお願いにも、

快く了承して下さい。千葉さんご夫妻でした。本当にありがとうございました。



郷土のはなし

禅珍内供の鼻

十二世紀前半に『今昔物語集』という説話集ができた、とされています。この本には、仏教説話や世俗説話など千四十の話が収められています。その中の一つに、池尾を舞台にした説話があります。

昔、池尾に立派なお寺があり、そこに禅珍(智)内供という僧が住んでいました。内供というのは宮中の内道場にも供奉して、仏事をつとめ



た僧のことなので、禅珍は相当高い位の僧であったといえるでしょう。この僧は講説も行っていたので、これを聴くため、僧や付近の人々も集まり、池尾の里は大変賑わっていたようです。

ところでこの僧は鼻が異常に長かったのです。「五、六寸」あるとされていたのでおよそ十六、七センチはあったでしょう。色は赤紫で、みかんの皮のように粒立っていて、あごの下の方まで垂れ下がっていた、というのです。禅珍がこの鼻を何とか短くしようと努力する様子を『今昔物語集』ではコミカルに描いています。

この話は、家族の方や知人から一度は聞かれたこともあるでしょうし、また、むかし話や芥川龍之介の『鼻』で読まれたこともあるでしょう。

では、どうしてこの話の舞台が池尾なのでしょう。『今昔物語集』の一部は、源隆国著『宇治大納言物語』から継承していると言われています。隆国は平等院の南の南泉房に居住し、そこで人々からさまざまな話を聞き、それを集めたのが『宇治大納言物語』です。池尾は宇治に近く、この話も隆国が集めた説話の一つとして、『宇治大納言物語』に

納められていたのでしょう。現在の池尾は、山間にある静かなたたずまいの地域です。右のような伝承や寺院跡も残されていますが、

おはなし会、大にぎわい!!

図書館では定期的におはなし会をしています。一時期は人気にかげりが出たものの、最近盛り返ってきて大にぎわいとなっています。台風接近で「今日は誰も来ないかもね」なんて笑っていたら、何と十数人の子どもたちが来てくれて、びっくりしたこともあります。

われわれ図書館員も、この期待に応えねばと、本選びに苦労しています。なんせ、年齢層はばらばらだし、個人の好みもわからないし、迷いながら本を用意していくのですが、それだけに子どもたちが「おもしろかった!!」と言ってくれたときには、本当によかったと思

古くは大きな寺があり、人々も多く居住し、参詣人などで賑わっていたことをこの話では伝えてくれています。

ます。子どもたちがのってくると、やっている方もおもしろくなっていくので、相乗効果もあるのでしょうか。まだ行ったことがないという子どもさんも、ぜひ一度来て下さい。お待ちしています。

おはなし会の日は・・・

中央 毎月第二・四水曜日

東宇治 毎月第一水曜日

西宇治 毎月第三水曜日

時間はいずれも午後三時半～四時

対象はひとりでおはなしを聞ける子又、「おはなししたまてばこ」の日は

中央 毎月第三土曜日

東宇治 毎月第四水曜日

時間は同じです。こちらは大人の方もご一緒にどうぞ。

利用案内

- ・市内に在住、または市内に通勤・通学されている方なら、一人10冊3週間(そよかぜ号は約1ヵ月)本が借りられます。貸出券は全館共通です。

- ・図書館は9時から17時まで開館しています。休館日は毎週月曜日、第4木曜日、祝日、年末年始です。

あ と が き

この夏は、台風もよく来ましたが、猛暑も続きまし

た。にもかかわらず図書館にはあふれんばかりの人・人・人……。我々もまさに目がまわるほどの忙しさでした。

これからはゆっくりと……できるかな?

(丁)